



まちの情報発信講座

2024年度 事例のご紹介



まちの情報発信講座について

●概要

本講座は、町会・自治会の皆さんが主体的に団体の情報発信の課題解決に取り組むコースです。講座は「ホームページ作成」「LINE活用」の2つのコースを開催し、町会・自治会の方々がご自身で成果物を作成・運用し、町会・自治会が地域で効果的な情報発信を行うことを応援します。集合型講座（ホームページ作成・LINE活用とも全3回）への参加を通じ、先進事例をモデルとして目標とする成果物作成を進めていきます。講座は、ビジネスの経験・スキルを活かしたボランティア「プロボノワーカー」が課題整理に伴走し、当日のサポートを行います。

●プロジェクトの流れ

第2回に向けた宿題

ヒアリング・アンケートの実施
写真や資料の素材集め

第3回に向けた宿題

掲載する素材やコンテンツの増補
ホームページの作成

第1回 講座

情報発信の基礎知識についてお伝えする講義に加え、ホームページ作成、LINE活用をする目的を整理するワークを通じて、成果に向けた企画作成を行いました。

第2回 講座

第1回で整理した情報発信の目的と宿題のアンケート結果をもとに、改めて企画を最終化していきました。
その企画をもとに、ホームページはGoogleサイト、LINE活用は、LINE公式アカウントを作成する作業を行いました。

第3回 講座

最終回では、参加の町会・自治会の皆さんがこれまで取り組んできた内容や工夫した点などを発表し全体共有しました。さらに運用する上での課題や疑問点を洗い出した上で、今後のアクションを検討し、成果物の最終化を行いました。

《ホームページ作成》講座を振り返って

～各町会・自治会からの声と成果物～

西ヶ原西部自治会

[北区]



公開中



回覧板は、後で大切なところを見直したいという声が多くあり、閲覧用のページを作りました。みんなが集まってやるイベントは、それぞれのページを作成し見やすく工夫しました。ホームページの周知のために、QRコードを回覧板で案内していきます。今後ともいろいろと工夫をして運営をしていきたいと思っています。

西蒲田二・三丁目

自治会[大田区]



公開中



ホームページ作成の最大の狙いは、若手世代に自治会に興味を持ってもらって参加してもらうことです。“ちょこっと応援隊”という名称でボランティア募集を行っており、このホームページを入口に発信力を高めていきたいと思っています。その他、赤ちゃんの誕生祝い、小学校入学祝いの贈呈事業を行っており、その申請書等を掲載しています。

《ホームページ作成》講座を振り返って

～各町会・自治会からの声と成果物～

2024年度



まちの情報
発信講座

平尾自治会

[稲城市]



公開中



自治会に会報誌がないため情報発信の手段としてホームページを作成しました。トップページは、明るく元気なイメージでひまわりの画像にしました。Googleカレンダーを活用して活動日の案内や、自治会館の場所を、Google Mapを活用して載せました。今後、防災ページにハザードマップや、避難所の案内も掲載していく予定です。

《LINE活用》講座を振り返って

～各町会・自治会からの声と成果物～

2024年度



まちの情報
発信講座

鷺宮三丁目町会 防災会 [中野区]



【LINE公式アカウント】テスト運用中



町会としてのLINE公式アカウントはありますが、防災会は町会非会員も含めて情報の発信が必要です。そのため、防災に特化した情報を、町会非会員も含めて発信することを目的とした公式LINEを作成しました。

避難所に関する情報や、防災訓練など防災に関する活動の周知などで活用したいと思っています。

上高田隣人協力会 [中野区]



【LINE公式アカウント】テスト運用中



区から届く紙の情報をPDF化して配信したり、イベントの情報やその報告をLINEVOOM機能なども活用しながら発信しています。

無料の範囲で活用を続けたいため、オープンチャットとの併用も検討中。イベント時に友だち登録を促したり、高齢者向けにLINEの使い方講座を実施しながら、利用者を増やしていきたいと考えています。

《LINE活用》講座を振り返って

～各町会・自治会からの声と成果物～

鷺南自治の会 [中野区]



【LINE公式アカウント】本格運用中



町会役員の高齢化が進んでおり、多様な世代に向けた活動の可視化が急務。まずはイベントに興味を持ってもらいたく、デジタル化の一環としてLINE活用を取り入れました。平時はイベント案内やイベント報告で活用しつつ、災害時の緊急連絡や安否確認としての機能も持たせたいです。2024年度下半期だけで100名を超える登録があり、デジタル化のニーズを痛感しました。

小淀西町会 [中野区]



【LINE公式アカウント】本格運用中



若い世代の方から、「LINEで情報発信すればもっと若い人がイベントなどに参加してくれるのでは」との意見が出たことから、LINE活用に挑戦しました。まずはイベントの告知や参加申込みの受付、ホームページと連動したリッチメニューの利用から始め、ゆくゆくは災害時の安否確認や高齢者の見守りなどへの活用も検討していくつもりです。

《LINE活用》講座を振り返って

～各町会・自治会からの声と成果物～

青葉台日向町会 〔目黒区〕



【LINE公式アカウント】4月頃運用開始予定



①紙の回覧板が回るのに時間がかかる、②マンション住民や事業者会員、若い世代にも情報が届くようにしたい、③イベントやサポーターの応募をしやすいしたい、という3つの課題から、公式LINEを使った電子回覧板に取り組んでいます。運用は、この講座に参加した2名も更新作業に加わっています。高齢者に対してはスマホ講座などで利用をうながしていきたいです。

西ヶ原東部自治会 〔北区〕



【LINE公式アカウント】テスト運用中



マンション住民と自治会との連絡手段がないなどの課題もあり、LINE活用に挑戦しました。高齢者向けのスマホ教室でLINE公式アカウントの登録を促したり、イベント時にも常にQRコードを持ち歩くなどして、LINE登録者数を増やせるよう工夫しています。リッチメニューを活用したイベント情報の告知などにも取り組んでいきたいと思っています。

《LINE活用》講座を振り返って

～各町会・自治会からの声と成果物～

光ヶ丘自治会 〔小平市〕



【オープンチャット】本格運用中



自治会内に緊急で周知する手段として、LINE活用に挑戦しました。無料の範囲内で使い続けたいため、LINE公式アカウントではなくオープンチャットを活用することにしました。回覧板でQRコードを掲示したところ順調に登録が増えており、関心の高さが伺えました。半年後には会員の半数以上が参加し、緊急の情報等が受け取れる状況になることを目指しています。

岩戸町会〔狛江市〕



【LINE公式アカウント】テスト運用中



町会規模も大きく、様々な課題があるなか、デジタル化の一環としてLINE活用にも挑戦。町会外の人も見られる情報発信ツールとしてすでにFacebookを活用しているため、公式LINEは町会会員への情報発信のツールとして活用。町会規模が大きいいため、まずはモデル地区として小さなエリアから活用を開始し、ゆくゆくは町会全体での随時発信に活用していきたいです。